

2014年4月4日

FIA 世界ツーリングカー選手権(WTCC)開幕へ ～シトロエン、セバスチャン・ローブらとタッグを組み初参戦、秋には鈴鹿へ～

9ヶ月、1万キロ以上におよぶテストを終え、シトロエン・レーシングは4月12日にモロッコ・マラケシュで開幕を迎えるFIA 世界ツーリングカー選手権参戦への準備を完了しました。C-Elysée WTCCをワークスマシンとし、ドライバーには世界ラリー選手権(WRC)9連覇を果たしたセバスチャン・ローブ、昨年のドライバーズ・チャンピオンシップの覇者イヴァン・ミュラーらを迎え世界タイトル獲得を目指す、新たなチャレンジに挑みます。

昨年7月にC-Elysée WTCCが初公開されて以来、シトロエン・レーシングはテストを重ねてきました。2月にはフランス・ポールリカール、3月にはスペイン・バレンシアにおいて合同テストに参加。順調な仕上がりと、マシンの完成度の高さを確認しました。

「このチャレンジが簡単ではないことは十分に理解しています。だからこそできるだけだけの準備を行ってきました。テストでの感触は悪くありませんがレースでは思ったとおりにならないことは確かでしょう。しかしシトロエンとチームメイトのミュラーとのコンビネーションは最高です。今はレースが楽しみです」とセバスチャン・ローブは語っています。

また、先週からはチーム全員がベルサイユのテクニカルセンターにて缶詰状態で最終調整を行い、最初の3台のマシンがアッセンブルされ、ドレスリハーサルとよばれるテストがマニクール・サーキットで行われました。「マシン、コース、レギュレーション、戦略、すべてが新しいスタートです。この開幕のためにチームが一丸となってやってきました。もう準備は万全。マラケシュを楽しみにしています」とシトロエン・レーシング総監督のイヴ・マトンはコメントしています。



クロスカントリーラリーのマニファクチャラーズ・タイトルを5回、WRCのマニファクチャラーズ・タイトルを8回獲得したシトロエンによるサーキットレース世界選手権初参戦は、モータースポーツが自らのテクノロジーの高さを示し、証明するために重要であるというシトロエンのメッセージであり、新天地にともに挑むセバスチャン・ローブとの良好な関係を継続する決意の表れでもあります

また、10月には鈴鹿サーキットを舞台として日本ラウンドが行われます。プジョー・シトロエン・ジャポンではシーズンを通してWTCCのリアルタイムレポートやプレビューなどのレポートをタイムリーに配信し、日本ラウンドに向けて様々なPR活動を展開、WTCCを盛り上げて参ります。

■ CITROËN C-Elysée WTCC (シトロエン Cエリゼ WTCC)

シトロエン・レーシングのワークスマシンとなるのは4ドアセダンのCエリゼをベースとした「Cエリゼ WTCC」です。車両規定により全幅は大きく広げられ(最大 1,950mm)、それに伴いバンパーなどの造形も空力性能を追求したものとなっています。また、大型のリアウイングを装着することで高速走行時の姿勢を安定させ、コーナリング性能を向上させています。最高出力は 380 馬力以上を発揮し、ドライバーたちは 1,100 kg (規定最低重量)の車体を意のままに操り勝利を目指します。



■ CITROËN RACING

シトロエンのモータースポーツ部門であるシトロエン・レーシングは、フランス・パリ郊外のベルサイユに本拠地を構えています。4 万㎡という広大な敷地内には、ファクトリーやデザインオフィス、開発、加工施設、特殊技術のラボラトリー、そしてテストコースと、最新鋭の施設が揃っており、WTCC やWRC













りに参戦する競技車両や、DS3 Racing に代表される特別仕様車などの開発、デザイン、設計などを行っています。デザイナー、メカニック、エンジニア、そしてドライバーたちが一丸となり世界の頂点を目指すシトロエン・レーシングの中核と言える場所です。シトロエンではこのレーシング部門を CRÉATIVE TECHNOLOGIE の“ショーケース”と位置づけています。

■ 世界ツーリングカー選手権(World Touring Car Championship)

国際自動車連盟(FIA)が管轄する F1、WRC、WEC と並ぶ世界選手権のひとつです。エンジンは 1.6 リットル直噴ターボ+6 速シーケンシャルミッションで、4ドア、2 輪駆動の量産車をベースにしたマシンで争われます。2014 年より車両規定が大きく変わり、大型のリアウイングや幅広のタイヤが使用可能となり、パワーアップしたエンジンと合わせ、より高速でエキサイティングなレースが期待されています。予選は土曜日に Q1 から Q3 まで行われ、決勝は日曜日に 2 レースが開催されます。それぞれ約 60km のスプリントレースで、レース 1 は予選順位のグリッド、レース 2 は予選上位 10 位までを逆順としたスタンディングスタート方式です。2014 年はシトロエンをはじめ、ホンダ、ラダがワークスマシンを投入しタイトルを競います。全 12 ラウンド 24 戦、開催国は 4 大陸 12 カ国にわたります。

■2014 年 WTCC 開催スケジュール

ラウンド	開催日程	開催サーキット	開催国
1	4 月 12~13 日	マラケシュ・レーストラック	 モロッコ
2	4 月 19~20 日	ポールリカル・サーキット	 フランス
3	5 月 3~4 日	ハンガロリンク	 ハンガリー
4	5 月 10~11 日	スロバキアリンク	 スロバキア
5	5 月 24~25 日	ザルツブルクリンク	 オーストリア
6	6 月 7~8 日	モスクワ・レースウェイ	 ロシア
7	6 月 21~22 日	スパ・フランコルシャン	 ベルギー
8	8 月 2~3 日	テルマス・デ・リオ・オンド	 アルゼンチン
9	9 月 13~14 日	ソノマ・レースウェイ	 アメリカ
10	10 月 11~12 日	上海国際サーキット	 中国
11	10 月 25~26 日	鈴鹿サーキット	 日本
12	11 月 14~16 日	ギア・サーキット	 マカオ




■ 2014年シトロエン・レーシング ドライバーラインアップ

シトロエン・レーシングは、WRCで9連覇を果たしたセバスチャン・ローブをエースとし、ツーリングカーチャンピオンであるイヴァン・ミュラーらを加えた4名のドライバーで戦います。3月に行われたジュネーブ・モーターショーでは4人のドライバーが勢ぞろいし、世界中のメディアから注目されました。



セバスチャン・ローブ Sébastien LOEB 

 1974年2月26日生まれ(フランス)。1999年にWRCデビューを果たし、2004年から12年まで9年連続で世界チャンピオンを獲得。WRC通算78勝はすべてシトロエンとともに獲得したものです。



イヴァン・ミュラー Yvan MULLER 

1969年8月16日生まれ(フランス)。フォーミュラカー、ツーリングカーなど様々なレースで活躍、WTCCでも4度の世界チャンピオンに輝きました。彼の経験はチームに様々な恩恵をもたらすでしょう。



ホセ・マリア・ロペス José María LOPÉZ 

1983年4月26日生まれ(アルゼンチン)。GP2などに参戦しながら2006年にはルノーF1のテストドライバーも担当。昨年のWTCCアルゼンチンではスポット参戦ながら優勝を果たした実力派です。



マー・チンホワ Ma Qing HUA 

1987年12月25日生まれ(中国)。2011年の中国ツーリングカー選手権で1600ccクラスのタイトルを獲得、12年にはHRT F1チームの育成ドライバーとしてF1マシンのステアリングも握りました。

